

福島・南相馬支部小高班



情勢と新婦人語り
仲間づくり

1つめは、高市政権の危険性とそれに立ち向か

47都道府県本部をはじめ57人が発言しました。討論の特徴についてふれ

大会代議員、中央委員のみなさん。自公連立政権が崩壊し、高市自民・維新連立政権の発足という激動の情勢のもと、大会中も各地とつながって仲間づくり報告が次つぎ届き、会員の大合目標達成、前大会時突破の県本部、支部が生まれています。

2つめは、「声をあげる」ことが社会を動かす原動力になる」

草の根の運動が
動かす

共通するのは、何としても核兵器をなくしたい、戦争はダメ、そのために、新婦人を大きくこの思いです。

討論のまとめ

事務局長 由比ヶ浜直子



運動の発言が、たくさんあったこと。今年入会した20代の代議員の「思いをともにする仲間を増やしながら、草の根の声で社会を変えていく」との発言は象徴的でした。

自分の言葉で
新婦人の魅力語って

3つめは、新婦人への深い確信が、さまざまに言葉で語られたこと

行政に働きかけてトイレカー、シャワーカー、キッチンカーの災害時協定締結、米不足で地元国会議員へ要請、産直運動での入会もありました。

「安心して政治もしゃべれる。なんでも言える自由な雰囲気がいい」「学習・交流にとどまらず、できることを考える新婦人」「政府のいいなりでなく、行政にも議会にも声をあげられる」「らい

5つめに、仲間づくりの努力に学んで

仲間づくりの
努力に学んで

「自分もやってみよう」と、友人を誘えなかった自分が誘えるようになった、と変化を語り、働く次世代が、支部委員、支部常任委員、県本部委員にも、委員会活動の新しい発展方向も見えてきています。全国どこでも、この希望を広げていきま

「ゆるやかに」つながることを大切に、「署名なども自分のスタイルで、なんでもできない」という人にも「あなたが会員でいることが平和の力」と声をかけ、入会を働きかけている経験に学んでいきます。

「新婦人しんぶんを読んでもおしゃべりする」「しんぶんタイム」を、班でも小組でもつよめてきたことで行動する班と会員を増やし、運動に、仲間づくりにと、活動が広がっていることも特徴です。

「新婦人を語れば仲間が増える」「こんなすごい新婦人が大きくなりたいはずがありません。仲間づくりは特別な努力とこだわりの必要です。この大会を新たな出発点として、大会に参加した私たちがみんなが、先頭に立つて必ず前進をつくっていきましよう。

と委員会活動でも教訓的な発言が続き、最後まであきらめない、今に続く努力に学び合いました。能登半島地震や豪雨災害で大きな被害にあった石川県珠洲市での念願の班誕生の発言は、大きな感動をもって受けとめられました。ここを動かすという思いを込めた「野萱草」の班名、早く班を増やし支部にとの発言は、まさに、新婦人。「支部になって自治体に要請したい」と支部結成など、組織を築くことの大切さを学びました。

「新婦人しんぶんを読んでもおしゃべりする」「しんぶんタイム」を、班でも小組でもつよめてきたことで行動する班と会員を増やし、運動に、仲間づくりにと、活動が広がっていることも特徴です。読者の「新婦人しんぶんでおしゃべりたい」との思いから空白地域に班結成。しんぶんのクイズでたくさんモヤモヤが出され、ゲストが入会など仲間づくりの力になっ

休憩時間には



フォトスポットで記念撮影



給水コーナーは「冷たくておいしい」と好評



各県のグッズ交換コーナー



記念スタンプは大人気!